

第4弾

湖南地域障害児・者サービス調整会議

就労部会 ショブリンク

平成23年度 湖南地域の『はたらき』の現状



平成24年（2012年）10月19日

<目次>

1. 湖南地域ってどんな地域？.....	1
2. 障害者の状況.....	1
3. 障害者雇用の状況.....	3
4. 特別支援学校卒業生の進路状況.....	6
5. 管内相談窓口の状況.....	8
(1) 各市窓口の状況.....	8
(2) 相談支援事業所の状況.....	14
(3) 湖南地域障害者就業・生活支援センター（働き・暮らし応援センター‘りらく’） 活動状況.....	16
6. 福祉サービス事業所の状況.....	18
あとがき.....	22

1. 湖南地域ってどんな地域？

(人口の推計)

表 1

(単位:人)

	滋賀県	草津保健所	草津市	守山市	栗東市	野洲市
16年	1,374,182	296,579	118,489	69,799	58,818	49,473
17年	1,381,232	300,109	119,218	70,897	60,293	49,701
18年	1,387,110	305,395	122,191	72,221	61,219	49,764
19年	1,394,809	309,141	123,203	73,936	62,106	49,896
20年	1,401,073	313,200	124,901	75,082	63,094	50,123
21年	1,402,132	315,837	126,389	75,855	63,406	50,187
22年	1,403,977	318,669	128,159	76,763	63,339	50,408
23年	1,414,398	324,947	133,040	77,320	64,428	50,159

統計課「滋賀県推計人口年報」より各年 10 月 1 日現在

湖南地域は、本県東南部を中心とする草津市、守山市、栗東市、野洲市4市であり面積は206.68km²と本県の5%を占めている。

人口は、324,947人(平成23年10月1日滋賀県推計人口)と県全体の23%余りを占める。人口が増加している自治体が僅かしかない中で滋賀県の人口増加率は上位にあるが、その中でもとりわけ本地域は顕著な人口増加の傾向を示している。これは、本地域は古くから交通の要衝として位置づけられてきたが、現在も国道1号・8号線および名神高速道路等の基幹道路やJR琵琶湖線や東海道新幹線が走行する等交通インフラに恵まれており、工業化や都市化が進み京阪神のベッドタウンの役割をも担っていること、さらには瀬田の文化ゾーンに3つの大学があることによるものと考えられる。

2. 障害者の状況

湖南福祉圏域の手帳交付者および自立支援医療費公費負担者数は、大津福祉圏域に次いで多く、平成24年3月末で身体障害者手帳は9,433人、療育手帳は2,087人、精神保健福祉手帳は1,248人が所持しており、自立支援医療費公費負担者数は3,198人となる。うち18歳未満の手帳所持状況を見ると、療育手帳は761人と大津福祉圏域を上回る数字となっている。平成23年3月末と比較すると、身体障害者手帳で13人、療育手帳で89人、精神保健福祉手帳で137人増加しており、今後も増加傾向が続くものと思われる。

(障害者手帳交付者数等圏域比較)

表 2

(単位：人)

	区分	身体障害者手帳交付数	療育手帳交付数	精神保健福祉手帳交付数	自立支援医療費公費負担者数 (精神通院医療分のみ)
大津福祉圏域	18歳以上	12,039	1,602	1,620	3,754
	18歳未満	274	683		
湖南福祉圏域	18歳以上	9,162	1,326	1,248	3,198
	18歳未満	271	761		
甲賀福祉圏域	18歳以上	5,546	918	589	1,359
	18歳未満	114	348		
東近江福祉圏域	18歳以上	8,427	1,277	950	2,055
	18歳未満	187	525		
湖東福祉圏域	18歳以上	5,638	941	628	1,317
	18歳未満	143	393		
湖北福祉圏域	18歳以上	6,300	1,089	722	1,327
	18歳未満	123	350		
湖西福祉圏域	18歳以上	2,518	449	266	557
	18歳未満	32	99		
県計	18歳以上	49,630	7,602	6,023	13,567
	18歳未満	1,144	3,159		

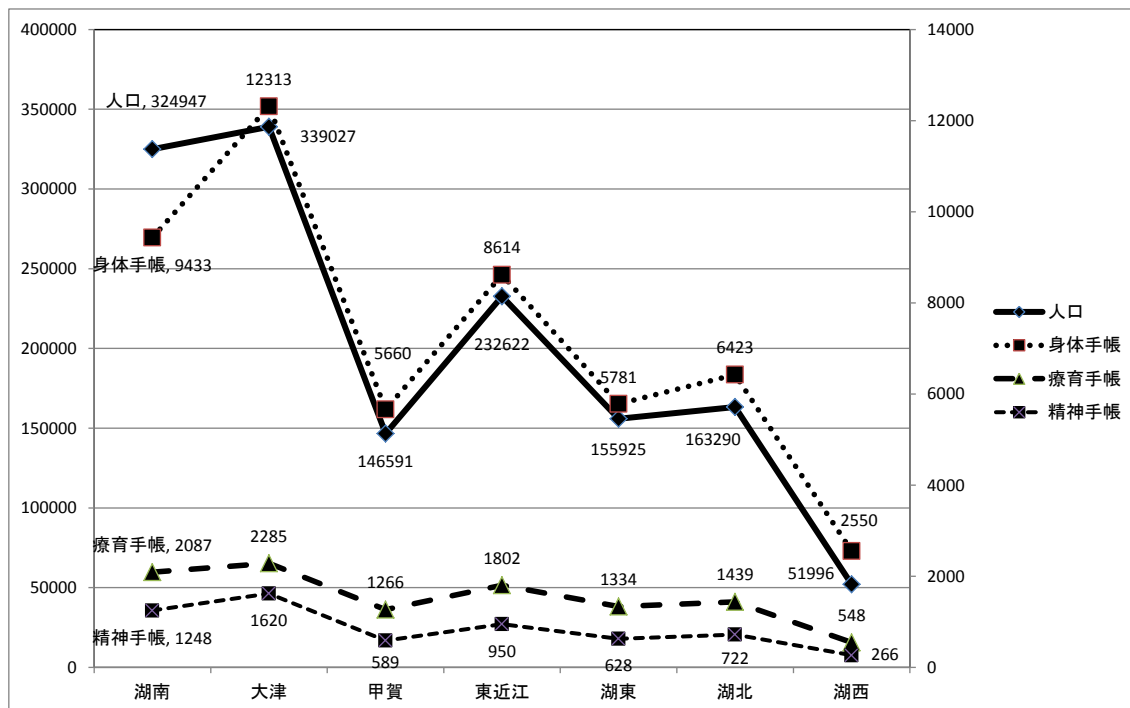
湖南福祉圏域内訳

草津市	18歳以上	3,497	515	464	1,314
	18歳未満	91	293		
守山市	18歳以上	2,281	331	302	706
	18歳未満	85	174		
栗東市	18歳以上	1,812	252	225	622
	18歳未満	58	160		
野洲市	18歳以上	1,572	228	257	556
	18歳未満	37	134		
湖南福祉圏域計	18歳以上	9,162	1,326	1,248	3,198
	18歳未満	271	761		

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

※ 精神保健福祉手帳および医療費公費負担については全数を掲載

(福祉圏域ごとの人口と手帳所持者数)



3. 障害者雇用の状況

(障害者雇用の推移)

毎年6月1日現在

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
企業数 (社)	505	538	552	577	609	577	584	629
(内法定雇用達成企業数) (社)	276	293	314	321	330	322	330	317
法定雇用率達成企業数の割合 (%)	54.7	54.5	56.9	55.6	54.2	55.8	56.5	50.4
基準労働者数 (人)	89,628	94,210	97,705	103,544	109,029	106,045	107,204	119,507
(内障害者数) (人)	1,507	1,576	1,662	1,709	1,800	1,773	1,809	1,917.5
実雇用率 (%)	1.68	1.67	1.70	1.65	1.65	1.67	1.69	1.60
全国雇用率 (%)	1.46	1.49	1.52	1.55	1.59	1.63	1.68	1.65

滋賀県に本社のある民間企業(企業規模56人以上)において雇用されている障害者数は1,917.5人で実雇用率は前年度より下降して1.60%となった。報告企業は、45社増加の629社、法定雇用障害者数の算定基礎となる労働者数は12,303人増加の119,507人、雇用されている障害者数は108.5人増加の1,917.5人であった。障害者のうち身体障害者は、50.5人増加の1,342.5人、知的障害者は56.5人増加の509.5人、精神障害者は1.5人増加の65.5人であった。

(行政における障害者雇用状況)

平成23年6月1日現在

	行政					教育委員会				
	滋賀県	草津市	守山市	栗東市	野洲市	滋賀県	草津市	守山市	栗東市	野洲市
障害者数 (人)	80.5	15.0	17.0	14.0	9.0	135.0				6.5
雇用率 (%)	2.25	1.98	2.28	3.40	2.38	1.66				2.75

※滋賀県は、滋賀県病院事業庁及び滋賀県企業庁と特例認定を受けている。

※草津市は、草津市教育委員会と特例認定を受けている。

※守山市は、守山市教育委員会と特例認定を受けている。

※栗東市は、栗東市教育委員会と特例認定を受けている。

※特例認定とは、地方公共団体の機関（A）及び当該A機関と人的関係が緊密である等の機関（B）の申請に基づき、滋賀労働局長の認定を受けた場合に、当該B機関に勤務する職員を当該A機関に勤務する職員とみなすものである。

地方公共団体（県・市町及び公営企業等）の機関において雇用されている障害者の数は、509人で前年より18人増加した。各機関の実雇用率は、滋賀県（知事部局・病院事業庁・企業庁）が2.25%、滋賀県教育委員会が1.66%、市町等の25機関が2.22%であった。

(ハローワーク草津における障害別障害者雇用の推移状況)

23年度末状況

	平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度			
	身体障害	知的障害	精神障害	身体障害	知的障害	精神障害	身体障害	知的障害	精神障害	身体障害	知的障害	精神障害	身体障害	知的障害	精神障害	その他	身体障害	知的障害	精神障害	その他	身体障害	知的障害	精神障害	その他	身体障害	知的障害	精神障害	その他
新規申込件数 (件)	117	32	44	106	22	28	137	37	38	141	39	42	138	41	103	21	156	72	95	24	143	62	106	25	157	65	107	29
就職件数 (件)	59	27	17	60	14	15	51	23	16	55	21	15	59	24	33	5	56	17	35	3	66	34	56	4	52	38	49	7
新規登録者数 (人)	82	20	37	66	14	21	77	27	21	73	26	24	79	24	74	18	95	49	56	17	67	38	55	20	72	26	40	19
有効求職数 (人)	273	66	61	215	57	58	199	59	61	162	62	42	165	54	77	7	156	66	63	11	184	82	110	23	209	77	140	20
就職中の者 (人)	472	243	16	520	252	32	544	266	31	570	280	40	536	294	50	6	568	307	62	7	564	310	80	8	568	333	98	9
保留中の者 (人)	151	50	15	222	60	24	272	84	44	245	72	69	283	99	96	9	347	119	152	16	343	127	146	14	371	138	149	15

※「その他」とは・・・身体障害者・精神障害者・知的障害者に該当しない、発達障害者、身体障害者障害程度等級が7級の者、難病・精神疾患・高次脳機能障害等により長期にわたり、職業生活に相当の制約を受け、または職業生活を営むことが著しく困難な者を言います。

新規申込件数・新規登録数については、身体障害者、知的障害者、精神障害者、その他等すべての分類において平成22年度と比較してやや増加しており、引き続き障害者の就労意欲が高いことがうかがえる。就職件数については、大幅に増加した平成22年度と比較して8.75%減と若干の減少となるも全体では一定の水準を維持している。身体・精神については前年と比較して減少傾向となるも、知的障害については、大きく増加した去年と比較してさらに件数が伸びている。その他の障害者について就職件数はここ数年増加傾向にあるも引き続き就職は難しい状況である。



ポイント

『ハローワーク草津におけるチーム支援により多くの人が就労に繋がっています！』

平成23年度のハローワーク草津における障害者就職件数 146件のうち、福祉施設（作業所）から就労に繋がった件数 21件

4. 特別支援学校卒業生の進路状況

(企業就労移行状況)

単位：人

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
草津養護学校	卒業生の人数	21	27	32	32
	湖南の在籍者	12	11	20	17
	企業就労数	1	0	1	2
野洲養護学校	卒業生の人数	14	21	23	33
	湖南の在籍者	8	14	15	18
	企業就労数	0	2	6	2
三雲養護学校	卒業生の人数	29	19	29	27
	湖南の在籍者	1	0	2	2
	企業就労数	1	0	0	0
滋賀大付属特別支援学校	卒業生の人数	8	7	9	7
	湖南の在籍者	1	1	2	0
	企業就労数	1	0	1	0
鳥居本養護学校	卒業生の人数	8	8	3	2
	湖南の在籍者	4	2	0	0
	企業就労数	1	0	0	0
聾話学校	卒業生の人数	6	6	8	7
	湖南の在籍者	2	0	2	4
	企業就労数	2	0	0	1
盲学校	卒業生の人数	5	9	4	3
	湖南の在籍者	1	0	1	0
	企業就労数	0	0	0	0
長浜高等養護学校	卒業生の人数	15	14	15	15
	湖南の在籍者	2	0	0	1
	企業就労数	1	0	0	0
甲南高等養護学校	卒業生の人数	0	14	16	15
	湖南の在籍者	0	7	6	6
	企業就労数	0	5	5	6
合計	卒業生の人数	106	125	139	141
	湖南の在籍者	31	35	48	48
	企業就労数	7	7	13	11

(平成23年度進路状況)

	進学	企業就労	職業訓練等	就労継続A	就労移行	就労継続B	自立訓練	旧体系	生活介護	通園関係	入所施設	その他	計
草津養護学校	0	2	2	0	1	2	2	0	7	0	0	1	17
野洲養護学校	0	2	0	0	1	4	1	3	5	2	0	0	18
三雲養護学校	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
滋賀大付属特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥居本養護学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聾話学校	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
盲学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長浜高等養護学校	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
甲南高等養護学校	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合計	2	11	3	0	3	6	4	3	13	2	0	1	48

- ・企業就労数は昨年度と同数、移行支援事業所等への進む生徒数も昨年度とあまり変わりがない。（生活介護は約2倍になっている）
- ・在学中から、各支援機関をまじえた支援会議を持ち、働き暮らし応援センターにつながようになってきたこともあり、卒業後の就労支援体制の整備は進んできており、各機関と密に連携が取れるようになってきている。
- ・一方では、発達障害等により、対人関係に課題があり、就労をしたが離職してしまう例が出てきている。就労移行事業所や訓練機関へ行っても、対人面の課題から就労になかなか結び付きにくい例も多い。このような生徒は、自ら支援機関に相談して再就職に取り組むことが難しいことが多い。今後の卒業生にも「支援を求めたくない・自己理解が難しい・対人関係が難しい等」の課題をもつ生徒がおり、進路指導ならびに継続支援の難しさを感じる。
- ・昨年度より教育充実支援員（昨年度は就労開拓支援員）が配置された（県内高等養護学校を拠点に2名）。就労先企業や現場実習企業の新規開拓にむけて、さらなる活用・連携が大切になってくる。



ポイント

『新規学卒求人求む！！』

高等養護学校からの就労については、希望者も多く、社会情勢の厳しさも相俟って調整が難しい面があった。今後、生徒数も増え、より多くの企業開拓が必要になってくる。一般高等学校のように合同面接会等への参加や、採用については障害者新卒者枠（学卒者枠）を設ける等、雇用拡大の機会を増やすことが必要である。

5. 管内相談窓口の状況

管内相談窓口に対して就労アンケートを実施し、各窓口の相談状況の把握を行った。

(アンケート質問内容)

- ① 就労に関する相談を受け付けたことがあったか？
- ② 具体的な就労支援を実施したか？
※ハローワーク同行・職場開拓・職場実習支援・面接同行・職場訪問支援に限る
- ③ 対象者数
- ④ ③のうち、企業就労に繋がった件数
- ⑤ ③のうち定着支援を実施した件数
- ⑥ 職場開拓を実施した件数

※様々な相談・支援が就労支援に含まれるため、本アンケートでは、ハローワーク同行・職場開拓・職場実習支援・面接同行・職場訪問支援に限った形で状況把握を行った。

(1) 各市窓口の状況

労政関係課窓口

各市労政関係課には湖南地区就労支援計画(湖南地区就労支援計画策定委員会により作成)に基づき、就労困難者(※)の就労相談に応じる就労相談員が配置されている。就労困難者の中には障害者等も多く含まれており、それぞれ障害者の就労支援を行っている。

※就労困難者…働く意欲がありながら、物理的・心理的・社会的な就労を妨げるさまざまな要因を抱えている人を指します。具体的にいうと障害者、ひとり親、同和地区住民、学卒無業者、在日・在留外国人、不安定就労者などが含まれます。

●草津市産業労政課

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…なし
- ③対象者…3名(その他3名)
- ④企業就労件数…0件
- ⑤就労後の職場訪問定着支援…0件
- ⑥職場開拓数…0件

・就労支援について課題だと感じていること

手帳をお持ちでない障害(ポーター)の方の支援。精神障害のある人で一般就労を希望されているが、継続しない。福祉的就労を提示しても興味を示されないため、支援が難しいと感じる。

・他機関との連携状況について

ハローワーク、職業センター、草津市立障害者福祉センター

●守山市商工観光課

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…あり（ハローワーク同行・面接同行・職場訪問支援）
- ③対象者…20名（身体8名、知的3名、精神7名、その他2名）
- ④企業就労件数…6件
- ⑤就労後の職場訪問定着支援…5件
- ⑥職場開拓数…0件

・就労支援について課題だと感じていること

・就職先がない事（仕事がない事）。
・支援者から言う事をなかなか理解してもらえない（せっかく見つかった仕事も賃金が安いからと、無断欠勤をして、一般就労の仕事を探す等）。

・他機関との連携状況について

くらしサポートセンターしが草津→脳梗塞で倒れ回復し、元の職場へ戻りたい希望の相談。落ち着いた事務所でゆっくりと話ができたが本人の希望は難しかった。しかし、親身に話を聞いてくださるのでまた利用したいと思いました。

●栗東市商工観光労政課

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…あり（ハローワーク同行・面接同行・職場訪問支援）
- ③対象者…13名（身体8名、知的4名、精神1名）
- ④企業就労件数…4件
- ⑤就労後の職場訪問定着支援…2件
- ⑥職場開拓数…0件

・他機関との連携状況について

ハローワーク草津、湖南就労サポートセンター、職業センター、りらく、社会・障がい福祉課（栗東市）、子育て応援課（栗東市）

●野洲市商工観光課

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…あり（ハローワーク同行・職場開拓・面接同行
職場訪問支援）
- ③対象者…13名（身体2名、知的5名、精神6名）
- ④企業就労件数…5件

⑤就労後の職場訪問定着支援…4件

⑥職場開拓数…0件

・就労支援について課題だと感じていること

表面上（経験、希望の職種・給与等の条件等）の本人希望だけでの支援では、本人に合った安定した就労に繋げることが非常に難しいところがある。このことから、本人の特性や家族環境の触れられたくない部分にまで踏み込まなければならないこともある。特に障害のある方の就労支援については、この件で心を傷つけることや人権に拘わる事柄もあり、人間関係の構築が優先されるが、本人の生活設計もあるので慎重且つ迅速で適切な指導が必要である。しかし、支援者の知識と経験あるいは行動力に疑問をもつことがしばしばあり苦慮している。

・他機関との連携状況について

行政内外の各種機関との連携は非常に重要であると考えている。このことから、特に障害を持った方の支援には多様な支援者との連携を図るように努めている。しかし、残念ながら行政の中においても一担当者の相談者数が多く、十分な支援に繋がらない場合が多々見受けられ、行政の施策（政策）見直しが大きな課題と考える。

障害福祉関係課窓口

行政における福祉関係の窓口は市によって少しずつ異なる。草津市には障害福祉課と健康増進課（主に精神障害や健康面の支援を必要としている人に対応）、二つの相談窓口がある。守山市、栗東市についてはそれぞれ、自立支援課、社会・障がい福祉課が窓口を担っており、野洲市については自立支援課、健康推進課（主に精神障害や健康面の支援を必要としている人に対応）、二つの窓口がある。

●草津市障害福祉課

①就労相談…あり

②具体的な就労支援…なし

・他機関との連携状況について

草津市立障害者福祉センターに就労支援事業コーディネーターを配置しており、連携して支援している。

●草津市健康増進課

①就労相談…あり

②具体的な就労支援…なし

・他機関との連携状況について

就労相談に来所された場合（対象、精神障害を持つ方）、精神状態・生活状況の聞き取り、アセスメントを実施し、主には以下のような連携をしている。

- ①就労移行支援事業所など、福祉サービスの利用が必要な場合、事業所の利用調整、目標に沿った通所ができるよう、ケア会議の開催など。
- ②職業評価や求職活動の支援が必要な場合は、りらくに繋ぎ、必要に応じケア会議に参加し、支援について、共に考えている。

●守山市障害者自立支援課

- ①就労相談…なし
 - ②具体的な就労支援…なし
- ・他機関との連携状況について

就労を希望するケースについては、市商工観光課やりらくと連携している。

●栗東市社会・障がい福祉課

- ①就労相談…あり
 - ②具体的な就労支援…あり（ハローワーク同行）
 - ③対象者…2名（精神1名、その他1名）
 - ④企業就労件数…0件
 - ⑤就労後の職場訪問定着支援…0件
 - ⑥職場開拓数…0件
- ・就労支援について課題だと感じていること

就労経験の乏しい、又は離（無）職期間が長期化している案件について、体験的な就労の場があれば良いなと思うことがありました。

・他機関との連携状況について

自身の機関の責務、及び他の機関の強みを考えながら、必要に応じて連携しています。公共職業安定所、職業センター、働き・暮らし応援センターなど。

●野洲市障がい者自立支援課

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…あり（職場訪問支援）
- ③対象者…2名（知的2名）
- ④企業就労件数…0件
- ⑤就労後の職場訪問定着支援…6件
- ⑥職場開拓数…0件

- ・就労支援について課題だと感じていること

企業や従業員の障がいに対する理解不足、本人の特性から就労した後の職場定着が難しい。

- ・他機関との連携状況について

相談があれば、本人の現況や特性に応じて、市の担当課（商工観光課、市民生活相談室）、働き・暮らし応援センターと連携する。

●野洲市健康推進課

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…なし

- ・他機関との連携状況について

・働き・暮らし応援センターりらく、就労支援事業所を紹介する。
・パーソナル・サポート・サービスモデル事業の就労相談を利用する。

●草津保健所

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…あり（職場訪問支援）
- ③対象者…11名（精神9名、その他2名）
- ④企業就労件数…2件
- ⑤就労後の職場訪問定着支援…12件
- ⑥職場開拓数…0件

- ・就労支援について課題だと感じていること

本人の障害を理解した上での労働（業務内容）を提供できない。

- ・他機関との連携状況について

企業から、休職やリワークについての相談。
作業所、生活訓練施設から職業リハビリテーション事業についての相談。
本人等から、就労相談があり、主治医等医療との連携。

発達障害関係課窓口

草津市には草津市発達支援センター、守山市には守山市発達支援センター、栗東市には、栗東市子ども発達支援課、野洲市には野洲市発達支援センターがそれぞれ立ち上がっている。対象としている障害種別や年齢層は各センターによって若干異なるが、おおむね発達障害者の相談支援がメインとなっている。守山市のセンターには就労担当者が配置されている。

●草津市発達支援センター

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…あり（面接同行）
- ③対象者…2名（その他（発達障害）2名）
- ④企業就労件数…0件
- ⑤就労後の職場訪問定着支援…0件
- ⑥職場開拓数…0件

・就労支援について課題だと感じていること

・期待する結果が出なかった時の、本人へのフィードバックに悩んだ。今後に向けての助言やアドバイスを、りらくや障害者福祉センターより頂けるとありがたい。

・他機関との連携状況について

本人の生活面の相談、母親の相談は発達支援センターで受けて、就労に関する本人の相談は、りらくにお願いしています。障害者福祉センターとは、日常的に成人ケースの相談をさせていただいております。

●守山市発達支援センター

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…あり（ハローワーク同行・職場開拓・職場訪問支援）
- ③対象者…4名（その他4名）
- ④企業就労件数…2件
- ⑤就労後の職場訪問定着支援…3件
- ⑥職場開拓数…10件

・就労支援について課題だと感じていること

療育手帳を持たない発達障害者の就労は、受入事業所がとても少ないので、大変困難な状況である。また就労準備支援に一年間なりの時間を要することが多い。

・他機関との連携状況について

働き暮らし応援センターりらく、ハローワーク、障害者職業センター、障害者雇用支援センター、社会就労事業振興センター、ポリテクセンターなどの機関と連携させていただいています。

●栗東市子ども発達支援課

幼児期～学齢期（中学校卒業）までを支援対象としていることから、就労支援に関わる実績はありません。

●野洲市発達支援センター

- ①就労相談…あり
 - ②具体的な就労支援…あり（実習支援）
 - ③対象者…15名（知的4名、その他11名）
 - ④企業就労件数…2件
 - ⑤就労後の職場訪問定着支援…0件
 - ⑥職場開拓数…0件
- ・就労支援について課題だと感じていること

○一般就労の場合

障がい（疑い含む）を雇用主に伝えていない（または伝えたくない）場合、支援者の介入ができず、本人や家族からの情報のみになり、正しいアセスメントができないため支援がスムーズに行かない場合がある。

○福祉的就労の場合

就労支援事業所により、事業所における就労支援の役割についてとらえ方が異なる。また、働き・暮らし応援センターとの役割分担についても、就労支援事業所によりとらえ方が異なる。

○発達障がい（疑い含む）で、就労に向けてのイメージがない場合や、社会性やコミュニケーション等の課題がある場合等、就労支援の前段階の支援（これも就労支援の一部であるが）を必要とする場合が多い。

○高校・大学等卒業まで支援を受けなかった人（診断は受けていない）で、就労できない、就労が継続しない、就労先で困っていることがある等の主訴の相談が増加傾向にある。また、生活保護受給者について担当課から同様の相談があり、発達支援センターに繋がることも増えている。これらの場合、関係課・機関と連携・役割分担しながら、時間をかけた相談支援が必要となる。

・他機関との連携状況について

市役所内関係課（障がい者自立支援課、健康推進課、市民生活相談室、社会福祉課、学校教育課 等）との役割分担のもと、働き・暮らし応援センター、障害者職業センター、雇用支援センター、就労支援事業所（移行・継続）、特別支援学校、医療機関等と連携し、就労支援を実施している。

(2) 相談支援事業所等の状況

●湖南地域障害者生活支援センター 相談課 相談支援センター あんず

（守山市・栗東市・野洲市の知的障害者相談支援事業委託）

- ①就労相談…あり
- ②具体的な就労支援…あり（ハローワーク同行・職場訪問支援）
- ③対象者…4名（知的4名）
- ④企業就労件数…0件

⑤就労後の職場訪問定着支援…0件

⑥職場開拓数…0件

・就労支援について課題だと感じていること

就労の前段階の生活習慣の課題が浮き彫りになり、家庭や学校のフォローの必要性を感じます。

●地域生活支援センター風

(草津市・守山市・栗東市・野洲市の精神障害者相談支援事業委託)

①就労相談…あり

②具体的な就労支援…あり(ハローワーク同行・職場開拓・職場実習支援・面接同行・職場訪問支援)

③対象者…8名(精神8名)

④企業就労件数…1件

⑤就労後の職場訪問定着支援…18件

⑥職場開拓数…3件

・就労支援について課題だと感じていること

・仕事のストレス、疲労や“休みたい”気持ちが、「他への怒り」や「支援拒否」となって現れる人への支援の難しさ
・多機関がかかわることに拒否的になる人も多く、一番関係のとれている担当者に大きな負担がかかる
・現実検討が難しい。焦りやすいためケース会議で目標やペースを確認しても、たびたび現状に合わない求人を目指そうとされる。ケア会議、機関同士の連携があると、振り返りや修正がしやすかった
・発達障害の方が、一般就労までに準備していける場として利用できる資源が少ない
・職場実習の機会がたくさんあると非常に有効

・他機関との連携について

ケースバイケースだがわりらくや職業センターとの連携は上手くとれていると思う。

●草津市立障害者福祉センター

(草津市の障害者相談支援事業委託)

①就労相談…あり

②具体的な就労支援…あり(ハローワーク同行・職場訪問支援)

③対象者…2名(知的2名)

④企業就労件数…1件

⑤就労後の職場訪問定着支援…0件

⑥職場開拓数…0件

・他機関との連携状況について

りらくとの連携を行っている

(3) 湖南地域障害者働き・暮らし応援センター「りらく」(就業・生活支援センター)

①就労相談…あり

②具体的な就労支援…あり

(ハローワーク同行・職場開拓・職場実習支援・面接同行・職場訪問支援)

③対象者…165名(身体12名、知的84名、精神59名、その他10名)

※障害者手帳の分類に基づく(不所持の者についてはハローワーク登録時の分類に基づく)

④企業就労件数…72件

⑤就労後の職場訪問定着支援…583件

⑥職場開拓数…41件

・就労支援について課題だと感じていること

○地域における就労支援の高まり

湖南地域において障害者の就職件数が依然と増加傾向にあります。特に就労系サービス事業所の利用を経て就労に至る件数(当センターが関わらせていただいた人では12件)が増えており、「福祉から企業就労へ」という道筋が一定地域に浸透してきていると思われます

○法改正による企業側への支援体制の強化

雇用率の改正などの影響もあり、企業からの相談が増えつつあります。就職を希望される障害のある人の状況についてはそれぞれ様々であり、限りなく個別的なサポートが必要であることから、企業に対してもきめ細やかな支援を提供していく必要があると思われます

○定着支援の充実

企業就労される人が増える中で、その方たちの継続就労をどのようにサポートしていくか、定着支援の充実を図っていく必要があると思います。

・他機関との連携状況について

働き・暮らし応援センターができて5年目。教育(特別支援学校等)、福祉(就労系サービス事業所等)、医療(病院等)、就労(ハローワーク・職業センター)、行政(各市の障害福祉系担当課や労政系担当課)などの機関と連携を図りながら支援を実施しています。チーム支援の視点を第一に考え、柔軟に支え合えるネットワークを大切にしていきたいと考えています。



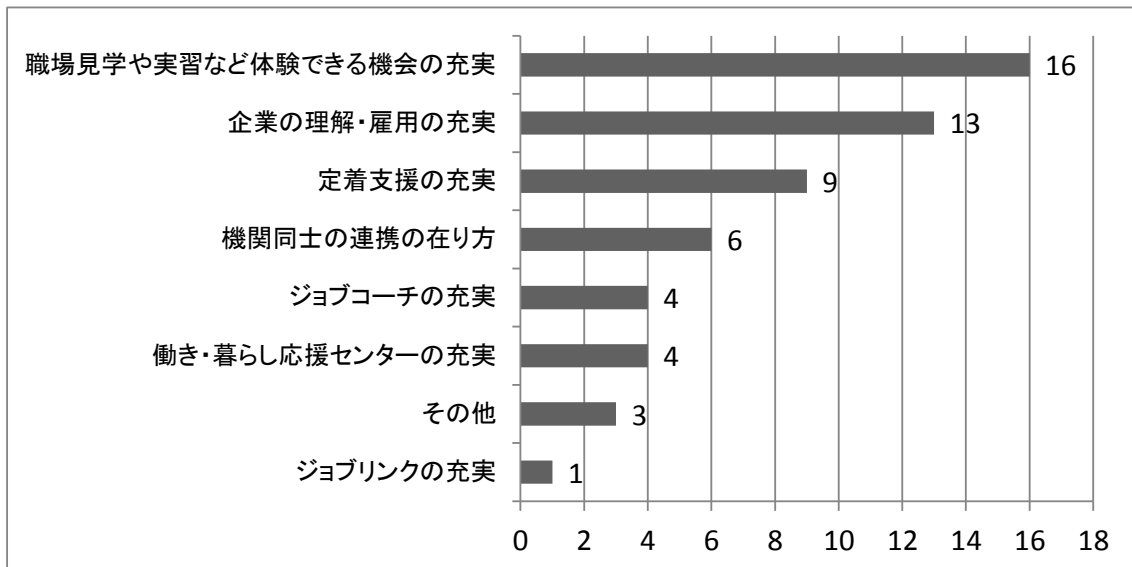
ポイント～相談機関から見た地域課題

『企業アプローチと定着支援の充実！』

「職場見学や実習など体験できる機会の充実」「企業の理解・雇用の充実」といった受け手となる企業（雇用事業所）に対する働きかけの充実を求める声が非常に多い。また「定着支援」や「ジョブコーチ」といった、働き続けることを支える仕組みのニーズも高かった。今後は企業に対するアプローチと就労に繋がった人たちを支える仕組み強化が求められている。

（アンケートより）

地域における就労支援の課題だと感じるものにチェックをつけてください（複数回答可）



（回答機関数：19 機関）

6. 福祉サービス事業所の状況

平成23年度における湖南地域の就労系サービス事業所（作業所）で行われた就労支援、及び当該サービス事業所において支援を受け就労した障害者の状況についてアンケートを実施しました（実施期平成24年9月）。

※ここでいう就労支援は「企業就労を目指す支援」を指します

・アンケートの回収状況

協力いただいた就労系サービス事業所（42事業所 ※サービス体系ごとで計上）

	就労移行 支援事業所	就労継続 支援B型	旧法施設	就労継続 支援A型
回答施設数	7	29	4	2

<アンケート結果より>

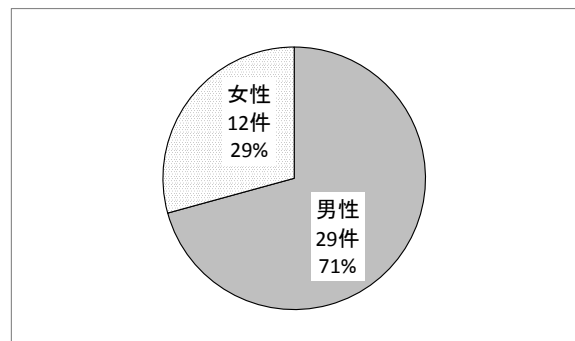
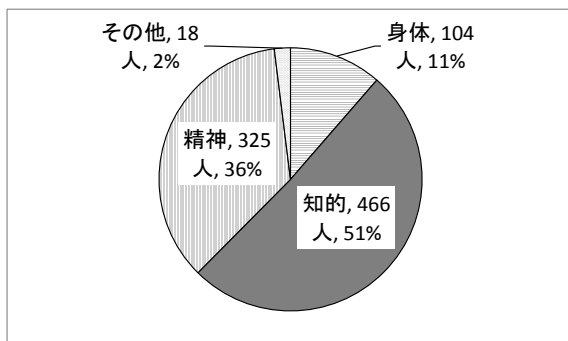


ポイント1～地域実績～

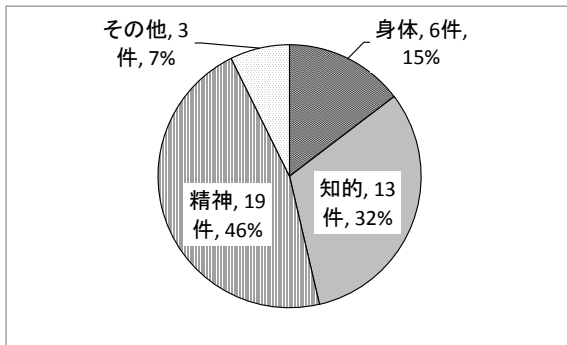
『作業所（就労系サービス事業所）から多くの方が企業就労に繋がっています！』

昨年度、湖南地域の就労系サービス事業所41カ所を利用された人の数は913名。企業就労に繋がった件数は41件（復職も含める）。うち湖南福祉圏域に在住している人は26件、圏域外に在住している人は15件。精神障害のある人が一番多く、知的→身体→その他といった順になっています。障害を開示して働く人の方が多く（開示26件、非開示5件）、トライワーク（15件）やトライアル雇用（16件）、ジョブコーチ（13件）といった支援制度も活用されています。

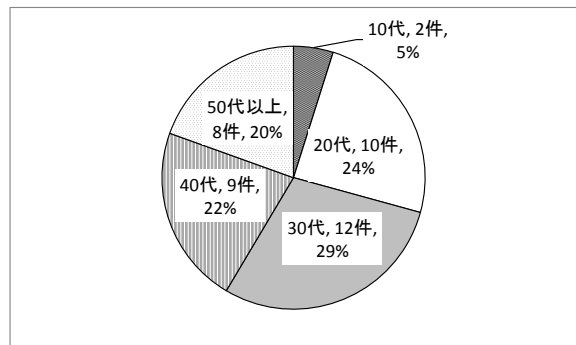
①平成23年度に就労系サービス事業所を利用された人数 ②就職件数（性別）



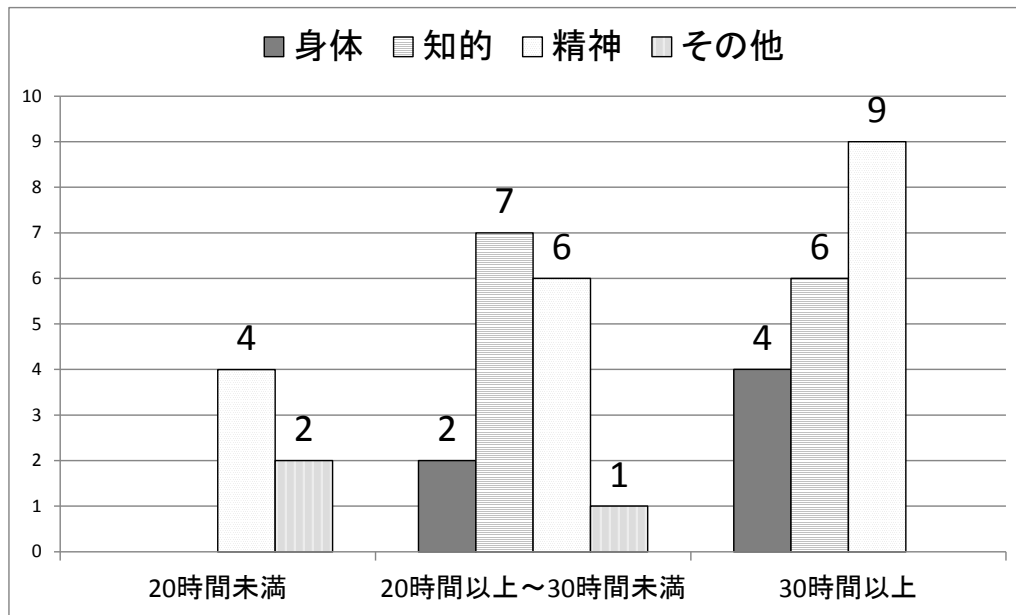
③就職件数（障害種別）



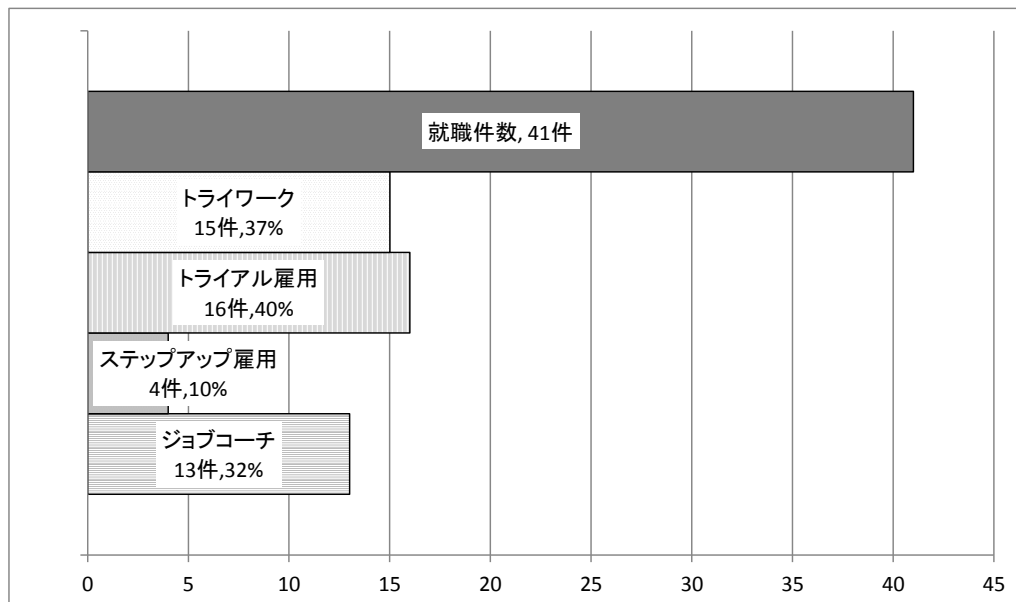
④就職件数（年代別）



⑤就職件数（週の労働時間）



⑥就職件数（制度利用状況）





ポイント2～サービス事業所内の課題～

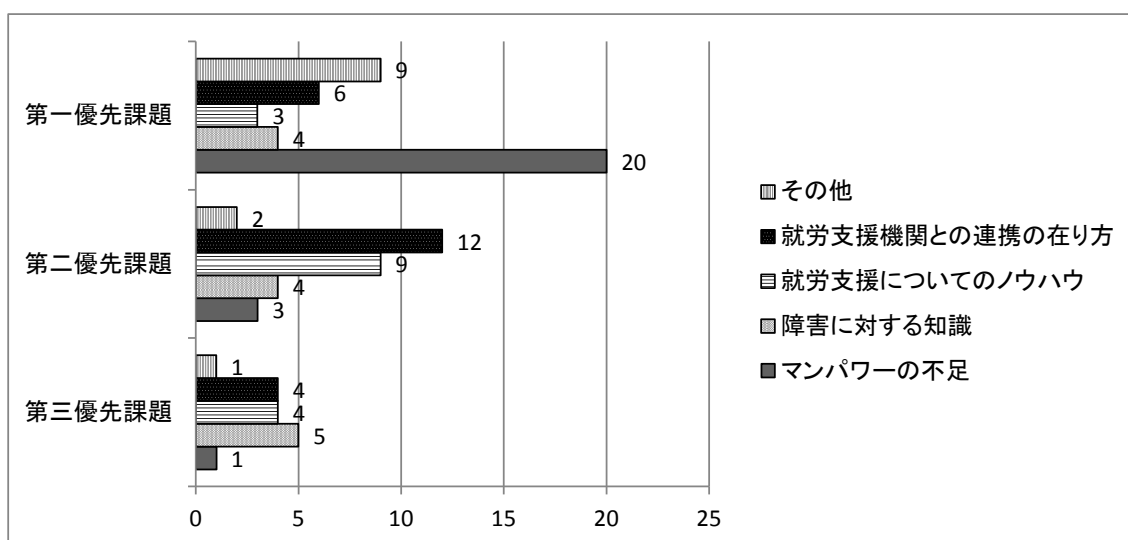
『就労系サービス事業所のマンパワー強化が鍵！』

就労系サービス事業所に対して施設内での課題を尋ねたところ、マンパワーの不足（スタッフ数）のため個別支援の充実を図ることが難しいという声が多かった。「働く場」としての機能、「押し出す場」としての機能、「働き続けることを支える場」としての機能…。

就労系サービス事業所に求められるものは多種多様であり、そのニーズに応えていくためには十分なスタッフ体制が必要となってきます。

（アンケートより）

就労支援という観点で施設の現状として課題だと感じていることについて、□にチェックをつけ、（ ）に優先順位をお書き下さい複数回答可）



ポイント3～事業所から見た地域課題～

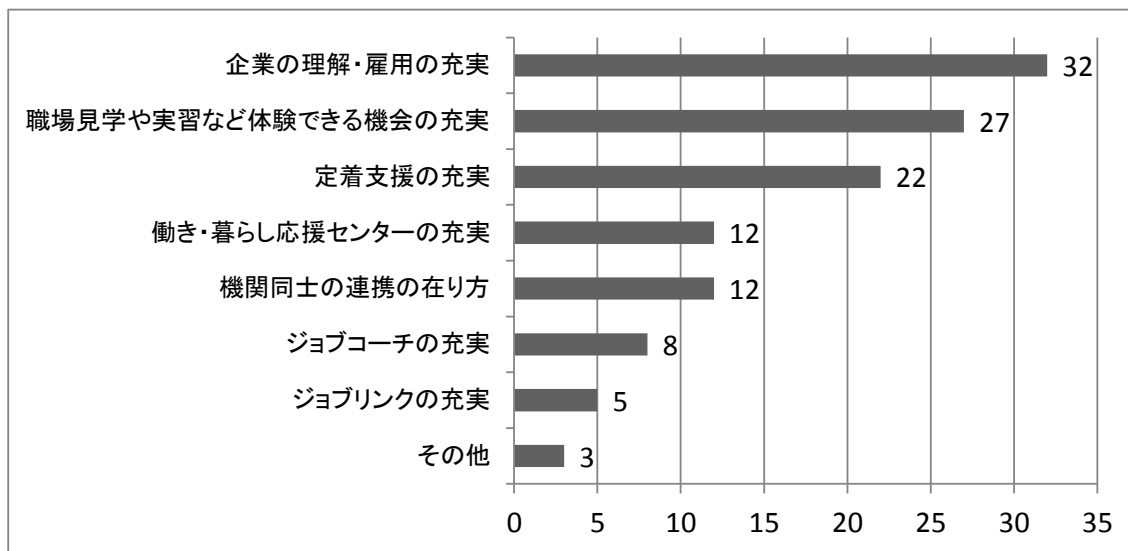
『企業アプローチと定着支援の充実！』

「職場見学や実習など体験できる機会の充実」「企業の理解・雇用の充実」といった受け手となる企業（雇用事業所）に対する働きかけの充実を求める声が多。また「定着

支援」や「ジョブコーチ」といった、働き続けることを支える仕組みのニーズも高かった。今後は企業に対するアプローチと就労に繋がった人たちを支える仕組み強化が求められている。

(アンケートより)

地域における就労支援の課題だと感じるものにチェックをつけてください(複数回答可)



(回答事業所数：42 事業所)

アンケート用紙のフォーム（参考資料）

湖南地域障害児・者サービス調整会議 ジョブリンク
発信のひろば「湖南地域の『はたらき』の現状」 アンケート
企業就労に向けた支援について（平成23年度 活動分）

1 施設概要

施設名	電話番号	
事業種別	A型 B型 移行支援 旧法	定員 名
管理者氏名	作成者氏名	

2 利用者状況（23年度に利用された人）

性別	男性	名	女性	名				
障害種別	身体	名	知的	名	精神	名	その他	名

※障害種別：主となる障害で記入下さい。

3 就労実績について（23年度に企業就労に繋がった実績についてお伺いします）

(1) 企業就労に繋がった人はいましたか？
 いる いない

上記（1）にて「いる」にチェックされた場合にお尋ねします。「いない」の場合は質問4へ
 (2) 企業就労に繋がった件数を教えてください・・・件
 (3) 就労件数に対する詳細をご記入下さい。

性別	男性	件	女性	件						
障害種別	身体	件	知的	件	精神	件	その他	件		
年代	10代	件	20代	件	30代	件	40代	件	50代以上	件
居住地	湖南圏域	件	湖南圏域外	件						
障害開示	障害開示（オープン）	件	障害非開示（クローズ）	件						
労働時間（週）	障害種別	20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上						
	身体	件	件	件						
	知的	件	件	件						
	精神	件	件	件						
制度利用	トライアルワーク	件	トライアル雇用	件	ステップアップ雇用	件				
	ジョブコーチ	件	その他	件						
	（制度名： ）									

4 就労支援全般についての質問
〔施設課題について〕

(1) 就労支援という観点で施設の現状として課題だと感じていることについて、口をチェックをつけ、
 () に優先順位をお書き下さい(複数回答可)

優先順位

() マンパワーの不足（スタッフ数が少ないため個別支援の充実を図ることが難しい）
 () 障害に対する知識（障害に対する専門的知識が十分でない）
 () 就労支援についてのノウハウ（具体的な就労支援の方法がわからない）
 () 就労支援機関（ハローワーク、職業センター、働き・暮らし応援センターなど）との連携の在り方
 () その他

〔地域課題について〕

(2) 地域における就労支援の課題だと感じるものにチェックをつけてください（複数回答可）

企業の理解・雇用の充実 職場見学や実習など体験できる機会の充実
 ジョブコーチの充実 定常支援の充実
 機関同士の連携の在り方 圏域機関（働き・暮らし応援センター）の充実
 湖南地域障害児・者サービス調整会議就労部会（ジョブリンク）の充実
 その他

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。
 このアンケートを元に、平成23年度の湖南地域障害児・者サービス調整会議就労支援に関する実績をまとめていただきます。

あとがき

この報告書は、湖南地域障害児・者サービス調整会議の就労部会ジョブリンクの活動の一つとして、各関係機関へ「一般就労に向けた支援について」のアンケート調査を行い、その結果をもとに作成しました。アンケートにご協力いただいた方々をはじめ、障害者の就労を支える人たちのご協力を得て出来上がりました。この報告書が湖南地域の就労支援の一助となれば幸いです。

ジョブリンク 事務局

- ハローワーク草津
- ワークステーションわかたけ
- 滋賀県立草津養護学校
- 働き・暮らし応援センター（就業・生活支援センター）‘りらく’